

気仙沼市自主防災組織連絡協議会「防災研修会」で講演しました(2016/8/9)

テーマ：自主防災組織、学校と地域の連携、東日本大震災
場所：気仙沼市役所ワン・テン庁舎大ホール（宮城県気仙沼市）

8月9日（火）「平成28年度気仙沼市自主防災組織連絡協議会 防災研修会」（主催：気仙沼市自主防災組織連絡協議会、気仙沼市）が開催され、当研究所から桜井愛子准教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）が講演しました。講演は、自主防災組織や自治会、教育関係等からの参加者55名に向けて、「東日本大震災被災地における災害復興・防災教育：学校と地域の連携」と題して、石巻市の東日本大震災からの復興プロセスにおける学校を中心とした教育活動や、学校と地域の連携について事例紹介が行われました。

気仙沼市では、昨年3月に市内の自主防災組織代表者で構成する自主防災組織連絡協議会が設立され、自主防災組織活動等に係る情報交換、防災に関する知識の普及・啓発などの事業を行っております。自主防災組織は、現在、自治会ベースで46%の組織率となっています。今年度は、消防機関と自主防災組織との間で意見交換会を2回開催しており、今後は、地域に出向いて住民との意見交換の機会を設けるなど、「自助、近助、公助」を合言葉に、自分の命は自分で守るための活動に取り組む予定となっております。気仙沼市での今後の自主防災活動の活性化や防災をめぐる学校と地域の連携が期待されます。



講演会場の様子

（写真：気仙沼市危機管理課提供）